

八角形の形がかわいらしい八角（スターアニス） トウシキミ（マツブサ科）



Illicium verum Hook.f.

部位	果実
生薬名	大茴香（ダイウイキョウ）
成分	アネトール、エストラゴール（フェニルプロパノイド）
薬理	抗菌作用、芳香性健胃作用、鎮痛作用
薬能	温裏薬
漢方	茴香（ウイキョウ）より薬効が劣り、主に香辛料

中国南東部からベトナムに分布する常緑高木で、白～紅色の花を付けます。日本国内では栽培が難しく、本園には白花を付ける株もありましたが根付きませんでした。果実は中華料理の香辛料「八角（スターアニス）」として知られています。台湾料理のルーローハン（魯肉飯）にも欠かせないですね。また、インフルエンザの治療薬であるタミフルが出た当初は、八角に含まれるシキミ酸を原料に半合成されていました。その結果、市場の八角が在庫不足になり大騒ぎとなりましたが、現在では八角を用いずに合成されています。一方、日本の在来種であるシキミとよく似ており、特に果実は酷似しています。シキミの実是有毒です。日本の野山で八角らしき果実を見かけた時は、有毒のシキミなので絶対に使用してはいけません。シキミについては、2024年3月号の植物園だよりで紹介していますので、ホームページでご確認ください。

ヤブコウジ（サクラソウ科）

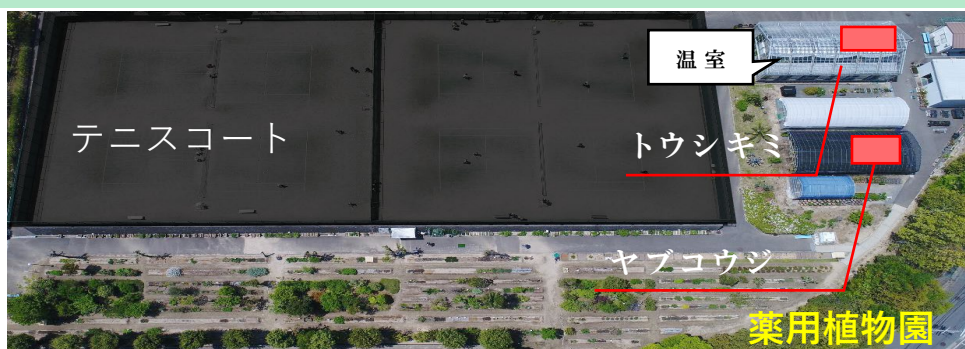
赤い実で邪気払い！お正月の縁起物「十両」

Ardisia japonica (Thunb.) Blume

部位	根茎および根
生薬名	紫金牛（シキンギョウ）
成分	ベルゲニン（イソクマリン誘導体）、ラパノン（ベンゾキノン誘導体）、フラボノイド他
薬理	回虫・条虫駆除作用、抗炎症作用、鎮咳去痰作用
用途	民間的に解毒薬



原産地は日本、中国、朝鮮半島、台湾などで山野の木陰に群生し、冬に赤い実を付ける常緑の小低木です。マンリョウ（万両）、センリョウ（千両）、カラタチバナ（百両）に並び本植物は「十両」とも呼ばれ、古くから正月の縁起物として重宝され、現在も寄せ植えなどに利用されています。万葉集にも「山橘：ヤマタチバナ」の名で多くの歌が詠まれています。薬用部位は、根茎および根で、紫金牛（シキンギョウ）と呼ばれ、主に民間薬として、胃の不調、咳、腫れ物、膀胱炎などに用いられてきました。一方、落語の「寿限無（じゅげむ）」にも生命力が強靱で縁起物として取り扱われ、「・・・食う寝るところに 住むところ やぶらこうじの ぶらこうじパイポ・・・」の下線部は、本植物のことと解説されています。



ホームページでも
ご覧いただけます